

日衛連NEWS

Japan
Hygiene Products
Industry Association

発行 / 日本衛生材料工業連合会

特集 第一回『日・中衛生用品企業交流会』、上海で開催

日衛連では11月14日から17日までの4日間、今なお経済成長の著しい中国・上海を訪れ、『日・中衛生用品企業交流会』への参加および上海近郊の不織布関連の工場視察を実施した。

なかでも、15日に中国造紙協会 生活用紙専門委員会と日衛連が共催した第一回『日・中衛生用品企業交流会』は両国企業の発展と交流を目的とする大変意義のある初めての意見交流会となった。



目次

『日・中衛生用品企業交流会』の概要

- 中国造紙協会 曹振雷会長の歓迎祝辞(江秘書長代読)
- 日衛連 高原技術委員長、連合会代表挨拶
- 「日本の衛生用品市場と日衛連の活動内容紹介」藤田専務理事
- 「中国衛生用品の市場動向とビジネスチャンス」 江秘書長
- 参加企業紹介
「全国紙製衛生材料工業会の出席役員紹介」 辻本由起子会長
- 日衛連各委員からのプレゼンテーション
 - 「生理処理用品」 河崎宏典委員(花王株)
 - 「乳幼児用紙おむつ」 河合誠雄委員(P&G・J株)
 - 「大人用紙おむつ」 倉田信弘委員(ユニ・チャーム株)、柴野壮史委員(白十字株)
 - 「衛生用品の快適性評価方法」特別論文紹介 宮澤清委員(ユニ・チャーム株)
- 吸水性樹脂について
吸水性樹脂工業会 技術委員会 竹田英幸委員(住友精化株)
- 不織布に関する世界の技術動向について
日本不織布協会 土谷英夫事務局長

『工場および病院・店舗視察』

- 上海豊格無紡布有限公司
- 康那香企業股份有限公司 上海工場
- 貝親嬰兒用品(上海)有限公司 [ピジョン上海] 提携病院・店舗

『日・中衛生用品企業交流会』の概要

中国側参加企業 41社81名、日本側参加企業23社46名での開催となった当日は懇親昼食会をはさみ、午前・午後の二部に分け、午前は主に日衛連および中国造紙協会の主催団体の挨拶・組織概要説明、日

中両国の参加各社紹介、質疑応答が行われた。

午後の部では、日本側の企業による各専門分野のレクチャーをメインに会議が進められた。

■中国造紙協会 曹振雷会長の歓迎祝辞（江秘書長代読）

曹振雷会長（江秘書長代読）は、中国造紙協会 生活用紙專業委員会（CNHPPIA）を代表して、第一回『日・中衛生用品企業交流会』に参加した日衛連、日本不織布協会ならびに日本側各企業に対し、熱い歓迎のご挨拶をされた。

中国企業にとって、日本の衛生用品工業ならびに豊富なマーケティングノウハウは学ぶべきところが多々あり、また今後、成長が続く中国市場で日本企業が事業を展開していくためには中国企業との更なる意見交換と協力関係が必要不可欠であることを訴え、今回初めての開催となった交流会をステップとして、活発な相互交流を行い、良好な協力関係を築くことが、ひいては消費者へのよりよい商品の提供につながる、との言葉をご挨拶の結びとされた。



■日衛連 高原技術委員長、連合会代表挨拶



高原技術委員長は、連合会を代表して「日・中衛生用品企業交流会」開催のお礼ならびに、セッション内容の概要・発表者をご紹介された。

第一声を流暢な中国語でご挨拶された高原技術委員長からは、衛生業界のグローバル化に伴い、近隣諸国の協力が必須となる中で、今回初めての開催となった本交流会に参加することで中国との関係がより一層強化されることに期待すると述べられ、今後更なる継続した相互交流を図る上でも、来年東京で開催予定の第二回交流会への中国企業の積極的な参加を呼び掛けられた。

■「日本の衛生用品市場と日衛連の活動内容紹介」藤田専務理事

日衛連傘下の各委員会・工業会の組織紹介、行政との連携、対象製品の薬事法との関連、自主基準、紙おむつの販売動向と包装排出量動向等についてご説明し、中国企業の皆様により深く日衛連としての活動内容を理解していただいた。



■「中国衛生用品の市場動向とビジネスチャンス」

中国造紙協会 生活用紙専門委員会 江秘書長

まず中国造紙協会 生活用紙専門委員会（CNHPIA※）の概要と活動内容についての説明をされた江秘書長はその後、「衛生用品市場の概況とビジネスチャンス」、「生理用品成熟市場へ」、「赤ちゃん用紙おむつ市場 活況続く」、「大人用失禁用品市場の拡大最速」、「綿状パルプとSAPの供給状況」の各項目に分けてレクチャーをされた。



「衛生用品市場の概況とビジネスチャンス」では、2010年の吸収型衛生用品の国内売上高が前年比14.3%増の628.4億元（約8,169億円）に達したことなどを例に挙げ、市場規模が拡大成長を続けていることを報告された。

また、「生理用品 成熟市場へ」では、ユニチャーム、花王等、日系メーカーを含む多国籍企業および国内主要メーカーが市場の約80%のシェアを占め成熟市場に変化していく一方で、農村部への浸透が未だ継続状況にあるため、依然発展の余地はあるとの見方を発表された。

「赤ちゃん用紙おむつ市場 活況続く」では、年間約1,600～1,800万人もの新生児が誕生する中国での赤ちゃん用紙おむつの消費量は近年2桁の成長を続けており、今後も更なる消費の活発化は続くとの見解を述べられ、「大人用失禁用品市場の拡大最速」では、高齢化社会に突入した中国の市場潜在力、「綿状パルプとSAPの供給状況」では需給のバランスを含むSAP供給の現状の報告がされた。

※CNHPIA〔中国造紙協会 生活用紙専門委員会: China National Household Paper Industry Association〕

設立：1993年6月8日

会員：国内会員520社、海外会員27社

- 中国造紙協会(CPA)傘下の事業者(衛生紙製品、生理用品、紙おむつ、ウェットシート等の製品メーカーおよび関連設備と原料・補助原料のサプライヤー)から成る社会団体。
- 情報交換、業界発展のための意見調整や企業へのサービスを提供する役割を担う。
- 主な活動内容としては、年1回の定例会、シンポジウム等を開催する他、海外の国際展示会への参加調整なども行う。

■参加企業紹介

「全国紙製衛生材料工業会の出席役員紹介」 辻本由起子会長

辻本由起子会長は中国造紙協会へお礼のご挨拶、ならびに当日出席した副会長 4 名、工業会に所属する会員企業の紹介を行い、その後各出席者より挨拶が行われた。



■日衛連各委員からのプレゼンテーション

●「生理処理用品」 河崎宏典委員(花王(株))

日本における生理用ナプキンの歴史、求められる機能、構造、吸収性や快適性を追求する表面シートの開発動向、変化する消費者のニーズに合う商品提案、生理用品の商品開拓、市場規模の変化についてレクチャーされ、成熟期に突入している日本市場では単なる排泄処理という従来の機能以上に付加価値の高い商品づくりが重要になってくることを報告した。

●「乳幼児用紙おむつ」 河合誠雄委員(P & G・J(株))

日本における子供用紙おむつの発展過程を「初期」・「普及」・「技術革新」・「多様化」と4段階に分け、構造、材料、形状、機能、また親と子双方の快適性を求める商品の提案についてレクチャーした。

●「大人用紙おむつ」 倉田信弘委員(ユニ・チャーム(株))、柴野壮史委員(白十字(株))

高齢者人口の増加に伴う日本の大人用紙おむつの市場規模、変遷、更に豊富な商品の中からどのように組み合わせるべきかという範例や選択のポイント、尿取パッドを使用することによる廃棄物の削減等についてレクチャーした。

●「衛生用品の快適性評価方法」特別論文紹介 宮澤清委員(ユニ・チャーム(株))

実際に衛生用品を使用する乳幼児や寝たきりの高齢者等、意思疎通が困難な対象者への快適性評価について、乳幼児には唾液アミラーゼ(sAMY)採取試験、高齢者にはHRを用いた自律神経活動の変化を計測、女性には感性フラクタル解析に基づいた結果を発表した。

■吸水性樹脂について

吸水性樹脂工業会 技術委員会 竹田英幸委員(住友精化(株))

「吸水性樹脂工業会(JASPIA)」の機能についての紹介があり、また吸水性樹脂(SAP)に関する日本国内の出荷量の推移、吸水原理、吸水液と吸水力の関係、用途、製造方法や性能・改善案、安全性についての詳細を報告された。

■不織布に関する世界の技術動向について 日本不織布協会 土谷英夫事務局長

アジア不織布協会・日本不織布協会の土谷事務局長は、世界の不織布の生産推移、生産量、日本の不織布の輸出入推移、更に不織布の製造方法、衛生用品不織布のトレンド等についてレクチャーをされた。また、グローバルに見た衛生市場は今後 10 年間で約 2 倍の市場成長が見込まれるとの見解を発表された。

こんな質疑応答がありました



昼食後には、日衛連各企業との名刺交換や、

“ 我社と合併して下さい!”

“ 代理商をさせて下さい!”

“ 是非工場視察に来て下さい!” etc…

中国企業からかなりストレートで積極的なアピールもあった懇親会での一幕。

中国側の参加企業の中には、講演の内容を一生懸命メモする姿も見られ、日衛連各企業との強い相互協力・関係強化を希望する会社も少なくなかった。

実際、質疑応答の時間には活発な質問・疑問が数多く寄せられた。では、いくつか上がった質問の一部をここでご紹介する。

Q: 衛生用品の品質に関して、国と企業では検査基準は異なるのか?

Q: 生理用ナプキンの原材料基準、薬事法はどういったルートで閲覧できるか?

Q: 快適性評価について、違った測定方法でも結果の一致性は得られるのか?

Q: 日本の衛生用品に医療保険は適用するのか?

Q: JHPIAの抗菌基準のマークは基準をクリアすると中国企業にも発行してもらえるのか?

Q: 日本では消臭基準はあるのか?

Q: SAPの安全性について、pH値はどうか?



・・・中国企業が抱いたこれらの疑問点。

今後、中国企業の更なる成長と日中企業間の交流のヒントになるかもしれません。

『工場および病院・店舗視察』 ～上海近郊の不織布関連工場を視察～

11月14日午後と16日の終日にわたり、上海近郊にある不織布工場2箇所と、貝親嬰兒用品（上海）

有限公司〔ピジョン上海〕が提携する病院内の「母乳育児相談室」および店舗を視察した。

■上海豊格無紡布有限公司 (Shanghai Fengge Nonwoven Co.,Ltd)

上海浦東国際空港から車で約1時間、上海豊格無紡布有限公司は上海市中心部の北西に位置する嘉定区の徐行経済城内にある。

2008年の設立以来、2本の生産ラインで主に中国国内向けにエアスルー製法で紙おむつ・生理用ナプキンに使用する不織布を生産している。輸出の割合は10%程度で、顧客には日系、欧米系メーカーもあり、高品質の製品を軸に生産量を伸ばし、ダブルシリンダーの生産ラインでは300トン/月、スーパーソフトファイバーの生産ラインでは200トン/月の生産能力がある。

また、「来年6月までに3本目となる生産ラインを敷く」と工場案内の際にご説明いただいた衛総経理のお話からも、今後益々中国国内市場の需要が増大していくことが伺える。



■康那香企業股份有限公司 上海工場

台湾の台北に本社を置く、康那香企業股份有限公司（略称：KNH）は生理用ナプキン等の製造メーカーであると同時に現在は不織布メーカーとしても積極的な生産を行っている。日衛連会員の中には既に取りを行っている企業もあり、今回は日本不織布協会の土谷事務局長の仲介で視察訪問が実現した。

1997年設立、98年から正式に稼働した上海工場ではспанレースならびにエアスルー製法で主に中国国内向けの製品を生産している。

2009年に不織布専門雑誌「Nonwoven Industry」で、世界の不織布メーカーベスト40にも選ばれたことがあるKNHであるが、台湾に4工場、中国国内では昨年、四川省の成都に新工場を設立、既に設備の搬入段階に入っている状況からも、国内市場の更なる拡大が見込まれていることが推察できる。

会社紹介ビデオの後、王総経理自らに案内していただいた工場内は整理整頓されており、非常に行き届いた管理のもと、生産が行われている感じが感じとれた。



『工場および病院・店舗視察』 ～「哺乳育児相談室」を視察～

■貝親嬰兒用品(上海)有限公司〔ピジョン上海〕 提携病院・店舗

中国で母乳育児が推進されていることを背景に、日本の厚生労働省に値する中国衛生局と契約し、全国34箇所の病院と提携、「母乳育児相談室」を展開している貝親嬰兒用品(上海)有限公司(以下、ピジョ

ン上海)。全国各省に1箇所、大都市である上海は2箇所設置されている「母乳育児相談室」の中でも、今回は年間約5,000人もの新児が生まれているという「上海婦幼保健院」を視察した。

●「上海婦幼保健院」

ピジョン上海では各地の「母乳育児相談室」へソフト、商品、展示品ならびに講義用のサンプルを提供しており、商品や使用方法等の説明も合わせて行っている。

「母乳育児相談室」には搾乳器など母乳育児関連用品が展示されている他、画像やイラストを用いた分かりやすい解説付きでピジョンが発行している「出産準備Book」、そして中国疾患予防コントロールセンター婦幼保健センターと共同監修し、発行している「母乳育児」という冊子が自由に持ち帰れるように設置されていた。

現在、ピジョン商品を展示している病院は全国で200箇所を超え、昨年11月からはインターネット販売もスタートしている。



「上海婦幼保健院」のエントランス



「母乳相談室」で受講するお母さん達



展示ケース



「出産準備Book」・「母乳育児」

●上海ヤオハン百貨店内 ピジョン店舗

全国で350店舗、上海地区では10店舗を展開するピジョンの上海浦東新区中心部に位置するヤオハン百貨店内の店舗を視察した。

4F キッズフロアにある40㎡弱の店舗スペースには、日本から輸入された商品の他に、上海郊外の青浦区にあるピジョンの自社工場および外注工場で生産された赤ちゃん用おしりふき、クリーム、ローション等スキンケア商品、洗剤等の液体商品、約400アイテムが販売されていた。

紙おむつ・ライナー生産数量(日衛連調べ)

(単位：トン、千枚)

			平成22年		平成23年									
			年計	前年比%	1~3月	前年比%	4~6月	前年比%	7~9月	前年比%	10~12月	前年比%		
紙 お む つ	大 人 用	(パンツタイプ)	テープ型	千枚	450,521	112	107,521	102	129,222	118	108,565	95		
				トン	54,960	111	13,008	101	15,423	115	12,998	94		
			パンツ型	千枚	736,414	109	174,946	103	217,153	121	182,303	102		
				トン	55,155	108	13,229	105	15,386	115	12,714	95		
			合計	千枚	1,186,935	110	282,467	103	346,375	120	290,868	99		
			トン	109,845	110	26,237	103	30,809	115	25,712	95			
		フラット型	千枚	258,067	94	60,887	96	63,506	96	54,712	90			
			トン	17,189	94	4,060	96	4,433	101	3,612	89			
		(パッド型/その他)	尿とりパッド	千枚	2,985,767	106	745,189	109	786,139	106	725,492	97		
				トン	144,138	107	36,014	110	37,618	105	34,965	97		
	軽失禁パッド		千枚	1,013,785	120	265,521	112	326,113	131	291,230	111			
	軽失禁ライナー		トン	9,822	113	2,582	110	3,110	132	2,576	107			
	合計		千枚	3,999,552	109	1,010,710	110	1,112,252	112	1,016,722	101			
		トン	153,960	108	38,596	110	40,728	107	37,541	98				
	合計	千枚	5,444,554	108	1,354,064	107	1,522,133	113	1,362,302	100				
		トン	280,994	108	68,893	106	75,970	110	66,865	96				
	乳 幼 児 用	(パンツタイプ)	テープ型	千枚	3,964,034	108	1,047,752	104	1,044,727	98	919,661	84		
				トン	116,218	106	30,234	102	30,636	97	27,020	84		
			パンツ型	千枚	4,665,813	113	1,080,062	99	1,158,417	108	1,135,667	104		
				トン	178,811	112	41,502	98	44,523	107	43,776	106		
合計			千枚	8,629,847	111	2,127,814	101	2,203,144	103	2,055,328	94			
	トン	295,029	110	71,736	99	75,159	103	70,796	96					
合計	千枚	14,074,401	110	3,481,878	104	3,725,277	107	3,417,630	96					
	トン	576,023	109	140,629	103	151,129	106	137,661	96					
ライナー	千枚	42,378	99	8,242	70	9,059	56	6,521	96					
	トン	67	74	13	72	14	54	10	91					

※製品分類については、平成10年1月から発表 ※平成17年1~3月分より輸入分を含む

■寝たきりの人のおむつ代は、確定申告すると医療費控除が受けられます■

昭和63年1月からおむつ(寝たきり用)は、医療費控除の対象になっています。控除を受けるためには、1.医師の発行する「おむつ使用証明書」
2.使用者の名前とおむつ代であると明記した「領収書」が必要です。詳しくは病院・医院、または税務署、市区町村役場にお問い合わせください。

ご質問ご意見お問い合わせは下記へ